

1 学習の目標

- 学習の基礎・基本を大切にしよう。
- 授業に集中し、「わかった」を重ねていこう。
- 自分の学びが深まる学習スタイルを見つけよう。
- 家庭学習を工夫し、学習を深めよう。

2 授業中のルール

- 授業の準備を休み時間に行い、チャイムと同時に授業が始められるようにしましょう。
- 始業・終業のあいさつは大きな声で行いましょう。
- 提出物は期限を守り、指示に従って提出しましょう。
- ものの貸し借りは原則禁止です。忘れ物をした場合は先生に報告しましょう。
- 大きいカバンは机の横（通路側）にチャックを閉めてかけておきましょう。

3 家庭学習について

- 教科書・ノート・タブレットの管理は各自でしっかり行いましょう。
- 苦手な教科は克服に向けて、得意な教科はさらにレベルアップできるよう、課題や目標を持って、粘り強く家庭学習に取り組みましょう。
- ただ課題をこなすのではなく、工夫しながら自分に合った学習スタイルを確立し、自分を見据えて計画的に取り組みましょう。
- 早寝・早起き・朝ごはんなど、健康的な生活を心がけましょう。
- 休日は家でのおんびりしたいところですが、皆さんは休日をうまく活用し、1週間のまとめを行うことをおすすめします。

4 テストについて

①木崎中学校のテストについて

- 小学校では单元ごとにテストが行われましたが、木崎中学校では各学期にまとめの定期テストが行われます。1学期に実力テスト・期末テスト、2学期に中間テスト・期末テスト、3学期に学年末テストがあります。
- テスト2週間前をめどにテスト範囲をお知らせしますので、計画を立てて学習しましょう。
- 定期テストの1週間前からは原則部活動停止になり、家庭学習に集中することになります。（1学期の実力テストの前には部活動停止期間はありません。日々の学習を進めましょう。）
- 夏休み明けと冬休み明けに復習テストを行う場合があります。（休み明けテストには、部活動停止期間はありません。）

②テスト計画の立て方について

- テスト範囲を一通り学習できるようにしましょう。
- 早めに問題集やプリント等にも取り組み、テスト直前に間違えた箇所を見直しましょう。また、どうしても理解できない箇所は、テスト前の質問会を利用しましょう。
- 無理、ムラ、無駄のない計画を目指しましょう。定期テストが終わるごとに計画をうまく実行できなかったところを見直し、次回の計画を立てるときに役立てましょう。
- 期末テストでは、実技教科もしっかりとテスト勉強して、テストに臨んでください。

③テストの受け方について

- 混合名簿順に座ります。列と列の間は十分に距離をとります。
- チャイムとともに開始できるようにするために、テスト開始3分前までに着席してください。
- 机の中・横には何もない状態にしてください。前の時間の試験中の問題用紙も入れておかないでください。
- 荷物はカバンの中に入れて、チャックを閉めて、ロッカーの上や黒板の下、廊下に置いてください。
- 机の上はシャープペンシル、鉛筆、消しゴム、教科で指示されたものに限られます。筆箱、下敷きは禁止です。(下敷き、ティッシュをどうしても使いたいときは事前に先生の許可をもらってください。)
- テストが配られているときは私語厳禁です。
- 問題用紙が配られた後、先生の「始め」の指示でクラス・出席番号、氏名を書いてから解答を始めてください。「終わり」の指示で筆記用具をおいてください。
- テスト中の私語、後ろを向いたり横を向いたりする行為など、不正行為と疑われる行動は絶対にしないでください。
- テスト中、物を落としたときは挙手して監督の先生に拾ってもらってください。
- 用紙の印刷不明瞭等、その他問題で分からないところがあるときは、教科の見回りの先生に質問してください。
- テストを集める人以外は合図があるまで席に座って話さず待っていてください。

④テスト後の心構えについて

- テストが終わったら点数のみを気にするのではなく、テストへの取組もしっかり見直しましょう。
- テストで配布された問題を活用して復習に取り組みましょう。

5 朝チャレンジ(朝の10分間自主学習)について

- 朝の10分間を使って、自分の定めた目標に沿って自主学習を進めます。
- 短期目標・長期目標を達成できるような学習に取り組みましょう。

6 チャレンジスクールについて

- 学習習慣の定着と学力向上のため、土曜日の午前中にチャレンジスクールを実施しています。
- 定期テスト1週間前から学校図書館を開放し7:30～の時間帯にテスト勉強に集中して取り組めるよう、早朝学習を実施しています。チャレンジスクールに登録していない人でも自由に参加することができます。定期テストの前に連絡するのでぜひ活用してみましょう。

7 タブレットについて

①タブレットを使用する学習について

- さいたま市から、「GIGAスクール構想」のリーフレットが配布されています。(別紙)
- スタディサプリについて年間1人528円(税込)で登録します。家庭学習で利用してください。

②本体の取り扱いについて

- タブレット本体は貸与品です。使用しているタブレットは、年度が変わったら他の生徒が使うこととなります。公共の物であることを意識して落としたり、ぬらしたりしないよう大切に取扱ってください。
- 機器を破損した場合や故意に設定を変更してタブレットに不具合が生じた場合、トラブルを起こした場合は保護者が責任を負うことになりますので、大切に取扱ってください。(例えば、機器の修繕代金の支払い等の弁償、トラブル解決のための対応、弁護士費用、トラブル解決のための必要経費の支払いなどが考えられます。)
- タブレットを使用しない際は、タブレットケースに入れましょう。机の中にそのまま入れないようにしましょう。

③操作について

- 先生の指示に従って操作を行いましょう。
- タブレットは、学校や家庭での学習活動に使うためのものです。学習活動以外には使用しないでください。
- 自分のタブレットを他人に貸したり、使わせたりしないでください。同様に他人のタブレットを無断で使用しないでください。
- 自分や他人の個人情報（名前、住所、電話番号、メールアドレス）はクラウドサーバーなどを含め、インターネット上には絶対にあげないでください。（対人関係でトラブルが発生し、訴訟、裁判等に至る恐れがあります）
- 自分の ID やパスワードは絶対に他の人に教えないでください。
- 教育上不適切なサイトへのアクセスをしないでください。（タブレット本体がウイルス感染をして、甚大な影響を及ぼす可能性があります。）
- 本人の許可を得ることなく写真を撮ったり、録音録画したりしないでください。
- 他人を傷つけたり、嫌な思いをさせたりすることを書き込まないでください。

④健康面への配慮について

- 使用時間を守ってタブレットを利用しましょう。
- タブレットを使用する際には、机といすの高さ、部屋の明るさ、画面の角度、操作する際の姿勢に気を付けましょう。
- 長時間の使用は控えてください。休み時間の使用は、学習を目的とした用途のみ使用可です。学習目的かどうか判断に悩んだ場合は、近くの先生に相談してください。
- 就寝直前は ICT 機器（スマートフォンも含む）の利用を控えましょう。

⑤タブレットの持ち帰りについて

- 学校外に持ち出す場合は、必ずタブレットケースに入れてください。
- 部活動等でカバンの中にタブレットが入った状態でカバンを置くときは、取扱いに十分注意してください。
- タブレットは毎日家で充電して学校に持ってきてください。
- 部活動等で外にカバンを置く場合は、雨に濡れないように注意してください。雨が予想されるときは、できるだけ雨が降る前にカバンを速やかに雨の当たらない場所に避難してください。
- タブレットを持ち帰る際には、ひったくり等の犯罪に巻き込まれないように最大限の注意を払いましょう。
- 破損、水没、紛失をした場合速やかに学校に連絡してください。また、屋外での紛失、盗難が疑われる場合は、速やかに警察に届出をするとともに、学校に連絡してください。
- ウイルス感染が疑われる場合は、Wi-Fi を OFF にし、ネットワークから切断し、電源を OFF にしてください。これらの措置を行った上で速やかに学校に連絡してください。
- アカウントが記載されたカードを紛失した場合は、速やかに学校に連絡してください。